

令和元年度 商品量目立入検査結果(前期)

期間: 令和元年6月4日から7月30日まで

商品分類	検査 個数	検査結果の内訳				量目不足の主な原因		
		過量	正量	量目不足		風袋量の 無視・軽視	乾燥等の 自然減量	その他
				個数	同率(%)			
食肉類	250	0	247	3	1.2%	3	0	0
魚介類	260	0	248	12	4.6%	11	1	0
野菜	231	0	231	0	0.0%	0	0	0
果実	9	0	9	0	0.0%	0	0	0
調理食品	268	1	257	10	3.7%	10	0	0
茶類	5	0	5	0	0.0%	0	0	0
菓子類	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
精米・精麦	3	0	3	0	0.0%	0	0	0
穀類(豆類及び粉類)	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
めん類	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
調味料類	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
その他	食品	0	0	0	0.0%	0	0	0
	非食品	0	0	0	0.0%	0	0	0
非特定商品	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
合計	1,026	1	1,000	25	2.4%	24	1	0

(※)特定商品……計量単位により取引されることの多い消費生活関連物資であって、消費者が合理的な選択を行う上で量目の確認が必要と考えられ、かつ、量目公差を課すことが適当と考えられるもの。
(食肉、野菜、魚介類、灯油など29種類)

検査 店舗数	不適正		検査 個数	不適正		不適正事業者の措置		
	店舗数	同率(%)		個数	同率(%)	現場での 口頭注意	文書等に よる指導	勧告 法第15条
45	1	2.2%	1026	25	2.4%	0	1	0